

製品名: NAIP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14394**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	NAIP BIRC1
別名	Baculoviral IAP repeat-containing protein 1 (Neuronal apoptosis inhibitory protein)
遺伝子 ID	4671.0
SwissProt ID	Q13075
免疫原	アミノ酸配列範囲 1191-1240 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

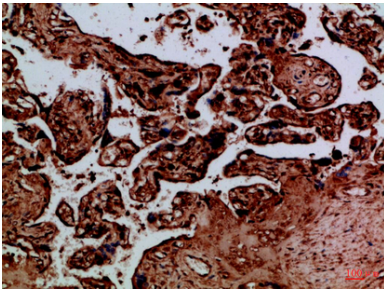
この遺伝子は、染色体 5q13 上の 500 kb の逆位重複の一部です。この重複領域には、少なくとも 4 つの遺伝子と反復要素が含まれており、再編成や欠失を起こしやすくなっています。配列の反復性と複雑さにより、このゲノム領域の構成を決定することも困難に

なっています。この遺伝子のコピーは完全長ですが、切断や内部欠失を伴う追加のコピーも染色体 5q13 のこの領域に存在します。この遺伝子は、近隣遺伝子 SMN1 の変異によって引き起こされる脊髄性筋萎縮症の修飾因子であると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質には、2つのパキュロウイルスアポトーシス阻害タンパク質と相同性のある領域が含まれており、さまざまなシグナルによって誘導されるアポトーシスを抑制できます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。 [Refdisese 提供: 重症脊髄性筋萎縮症 (SMA) 患者において、NAIP の変異型または欠失型が発見されており、NAIP 遺伝子座の変異が SMA の表現型に寄与している可能性があるという仮説が立てられています。]、機能: 様々なシグナルによって誘導される運動ニューロンのアポトーシスを阻害します。、類似性: NACHT ドメインを 1 つ含みます。、類似性: BIR リピートを 3 つ含みます。、組織特異性: 運動ニューロンで発現しますが、感覚ニューロンでは発現しません。肝臓と胎盤に存在し、脊髄にも少量存在します。、

研究分野

NOD 様受容体;

画像データ



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された